

まちづくり交歓会2011

福井市民協働・国際室協働事業

12月4日(日)13:00~16:30
福井県自治会館
81名 水上聡子



▲やる気のある大人がいっぱい。

今回のまちづくり交歓会は「子どもと大人が一緒に育つまちづくり」をテーマにしたものでした。当日は地区まちづくり関係者、公民館、NPO、市民活動団体関係者、行政など多くの人が集まりました。「子どもとまちづくり? 何だかわからないなあ」という声もありましたが、県外の2つの事例、県内の5事例を聞くうちに皆さんの中には少しずつイメージができてきたようです。子どもと大人は対等であり会話を大切にして楽しんで活動していく... 熱心に参加されていた皆さんの今後のまちづくりに期待します。

▲新田町の公園を子どもと一緒に作りました!

他団体紹介 11月19日(土) 富山県射水市 「親子のリレーションシップほくりく」第1回例会が開催されました。

北陸3県の子ども関連団体がまずは互いの活動から学んでいこうと、第1回例会では「とやま子どもの権利条約ネット」による活動紹介の時間がありました。子どもの権利条約の普及・啓発や教育・研修とともに、市町村の「子どもの権利条約」制定促進を目的に掲げる「とやま子どもの権利条約ネット」の活動は、子どもの権利条約が「新しい子ども観」を事業の柱にしている当センターにとって参考になることが多く、団体として加盟している意味が感じられる例会となりました。

イベント情報 ※お問い合わせは各子ども劇場へ

人形劇 **かっぱのお守り** <人形劇団ばんび>
作: 藤野野矢のり
演: 藤野野矢のり
泳げない太鼓太に手取り足取り泳ぎを教えたのは河童でした。ところが村人は河童を捕まえて... お守りが干上からって羽った河童を助太鼓は助けることができるでしょうか?
子ども800円 大人1000円 親子1500円
3月11日(日)14:00~
勝山市民活動センター2階大会議室... 勝山子ども劇場

芝居 **新作! アンディ先生のストリート・マジック+イルージョン** <マジックファクトリー>
ありえない瞬間移動、驚異の真道... 信じられないことが目の前で起こります。「誰とどき不能...」想像をはるかに超える魔法世界をお見逃しなく!
【主なステージ内容】
参加型ステージマジック+お借りしたものを瞬間移動+お客さまにサインしてもらったカードが信じられないところから... 他
3月20日(祝)14:00~
ハートピア春江大ホール... ふくい子ども劇場

映画 **上映会 「ミツパチの羽音と地球の回転」**
(上映2時間15分)
日時 3月10日(土)
①10時~ ②14時~ ③18時~
会場 福井県生活学習館ユニー・アイふくい映像ホール
入場料 前売り1,000円(高校生以上) 当日1,200円
主催... ふくい子ども劇場

掲示板 子どもNPOセンター Information Clip

● 掲示板についてのお問い合わせお申し込みは下記「福井県子どもNPOセンター」へ

子どもNPOセンターの支援会員を募集しています。

子どもたちの文化を豊かに育むこと、思いっきり子ども時代を過ごせること、そんな子どもたちひとりひとりの個性の輝きを応援するサポーターを募集しています。

- 子どもNPOセンターの目的に賛同し活動を支援する会員
- 賛助会員**
 - 個人会員会費... 一口年額 5,000円
 - 団体(法人)会員... 一口年額 10,000円
 - ボランティア会員**
 - 子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動にボランティアとして協力または参加する個人
 - 一口年額... 1,000円
 - ワンコインサポーター** ふくいチャイルドラインの支援基金
 - 入会方法** 郵便振替の通信欄に住所・氏名・電話番号・会員の種類と口座を記入してお振込みください。
郵便振替 00770-1-45546 福井県子どもNPOセンター

福井県子どもNPOセンターを支援しています。

- (有)イタクラ 人形芝居 高屋
- オーイエ歯科 ネットトヨタ福井株式会社
- 大久保リースホームビル(株) 野尻内科胃腸科医院
- 大月産婦人科クリニック half time
- 上屋敷工業株式会社 バルーンショップdaiwa
- 斉藤事務株式会社 (有)光タクシー
- さかい動物病院 福井キヤノン事務機株式会社
- 仁愛学園 福井県映画センター
- スクエアパーク 三井皮膚科医院
- 造家屋 山内整形外科
- Diabranz ヤマシタカメラバリオ店
- つちだ小児科

※ 未来への支援は常時募集しています!

子どもと文化の素敵な出会いをプロデュースします。

たとえば「学校で子どもたちに芸術鑑賞を...」
「イベントで楽しい遊びを...」
「親子の楽しいPTA行事に何か...」
さまざまなニーズに応じた企画を紹介しています。お気軽にお問い合わせください。
【これまでの実績】
鯖江市小学校公演紹介 / 小浜市小学校公演紹介
池田町人形劇公演紹介 / 福井市民館イベント紹介
福井市小学校親子の集い企画紹介 などなど...
※ 日程と希望作品の調整のため半年前にはご連絡ください。

I am OK!
ことばっておもしろいですね。
福井へ嫁いで四半世紀。なかなか福井井が
使えず無理に使ってたらNGをだされちゃいました。
むずかしい! / でも年数を重ねるうちにアクセントは
福井井になってるよなどと言われることも増え、
福井県人になれる日も近いかな?と思う今日このごろです。
でも「はよ しねーのー」にはいまだにドキッ♡ (響子)
You are OK!

ごどもChannel 次号は2012年4月末発行予定!
● 子どもと共に生きるまちをつくらう④
エンジョイ木田Kids⑦、拠点事業報告
放課後子どもプランにおける新たなプログラム開発事業進行中 他

※ 記事・情報に関するお問い合わせは、福井県子どもNPOセンターまで
特定非営利活動法人
福井県子どもNPOセンター
〒918-8106 福井市木田町36-1 コーポ木田201号 TEL:0776-97-8460 FAX:0776-97-8461
E-mail: childnpo@muse.ocn.ne.jp URL: http://childnpo.s-ric.jp/

※ ごどもChannel 企画・編集: 福井県子どもNPOセンター / デザイン: Diabranz(明珍博子デザイン室)

「今」を生きる子どもたちと、かつて子どもだった大人たちをつなぐ情報誌

みる きく あそぶ かんがえる
ごどもChannel
発行: 特定非営利活動法人福井県子どもNPOセンター
URL: http://childnpo.s-ric.jp/ 44号 2012

特集 子どもと共に生きるまちをつくらう③



私 達は、朗読劇や表現遊びを小学校や地域の子育て支援の場に届ける活動をしている、What's トントントンというグループです。
朗読劇、表現遊び、どちらも耳慣れない言葉かもしれませんが、これについては後で実際の公演の様子と、それを見た子ども達の感想を述べますので、そこから察していただければと思います。

大なわ みえた!

昨年11月~12月にかけて、たくさん公演の機会をいただきました。写真は清水南小学校と福井市旭地区子育て支援委員会による子育てひろば「ひだまり」での活動の一場面です。小学校でのステージ構成は、朗読劇2本、紙芝居1本と表現遊びでした。今回は特別に、ふくい子ども劇場に所属している「おはなしぶくぶく」さんにも、紙芝居や表現遊びの部分でお手伝いいただきました。

さて、これらの演目に共通するのは「想像力を使って遊ぶ」ということです。
朗読劇「ソメコとオニ」では、主人公のソメコ(5歳の女の子)とそれをさらいに来たオニが、舞台上では並んで客席の方を向いています。すべてのやり取りを正面を向いたままやります。リアルに演じるのではなく、台詞とシンプルな動作を客席に投げかけて、見る人の想像力を刺激します。例えば、ソメコがオニにおんぶされる場面があります。ソメコは両手をおんぶの形にするだけ。オニはソメコを背負ったフリをするだけ。見る人が頭の中で二人を合体させることで初めて「おんぶ」の形になります。
タイミングを合わせるのに苦労した場面ですが、ほとんどの子どもが感想文の中でそのことに触れてくれました。ひとつ紹介しますと、「...色々な工夫でお話もたのしかったです。おんぶなども工夫があつて「なるほどー」と思いました。自分で頭の中でお話を想像するのが楽しかったです」苦労が実りました。
次に、表現遊びでは、実物を使わずにボール投げや大縄跳びをしました。特におもしろかったのが大縄



跳びだったようです。これもいくつか感想を拾ってみます。「...大なわが本当にみえました。本当の大なわみたいひひかからないようにしました」「大なわの時にひかかってしまったのがはずかかった...」「最初は「えっ!何もしないの!」と思ったけど、どんどん物が見えてきて「これはおもしろい!」と思いました」想像の中の物が本物と変わらない力で子ども達を楽しませてくれたようです。
今回の公演で得た一番の収穫は、子ども達の想像力や表現力を信じていんだという確信です。私達の意図するところをきちんと理解して楽しんでくれたのみならず、それを絵入りの感想文で表現してくれたことに感激しました。
ただ反省点もあります。想像力が大切なことを伝えたいために、つい長々と説明してしまったり、「想像力」という言葉を繰り返すことで、私達の方が変に身構えてしまい進みがごちかなくなりました。

ことさらに言わなくても「○○ごっこ」の世界などで、子ども達は自由自在に想像して遊んでいますよね。私達は子どもの力を信じ、その力と一緒に遊んで、一度きりの出会いの場を楽しむことが大切なんだと改めて感じました。
また、感想文の中に「...朗読劇をやってみよう」というのもありましたので、子ども達に創る楽しさを伝えるプログラムにも挑戦できたらと思います。もしかしら私達の方が子どもから刺激を受けて勉強させてもらうことになるかもしれません。それもまた楽しみです。
世の中の情勢は厳しくなる一方ですが、子どもを取り巻く環境が少しでも良くなることを願ってやみません。短いひと時でも心を開放して遊ぶことの大切さを信じてこの活動を続けていますが、自分達にできることは何か、もう一度問い直し、新たな気持ちで子ども達と向き合っていきたいと思っています。

(What's トントントン代表 浪谷裕子)

「今」を生きる子どもたちと、かつて子どもだった大人たちをつなぐ情報誌
ごどもChannel 44号 2012年1月31日発行(年4回発行) 通巻第44号